

中年元勇者に優しい



ギャル魔法使い







中年元勇者に優しい



ギヤル魔法使い





長かった…
本当に…

これで
やっと…!



終わった…

遂に…
倒したんだ…!



やったな
ジャック!



本当に…
ありがとう

おいしーと
もっていき
やがって
このヤロー!

僕一人じゃ
きつと無理
だった…!



みんな
……っ!



ハハッ!
今更水臭いこと
言ってるなよ!

同じ釜のメシ
何十回食ったと
思ってた

さあ!こんな
辛気臭い所は
とっととおさらばして
胸張ってクニに
還ろうぜ!

…待ってたんだろう?
故郷の村によ!



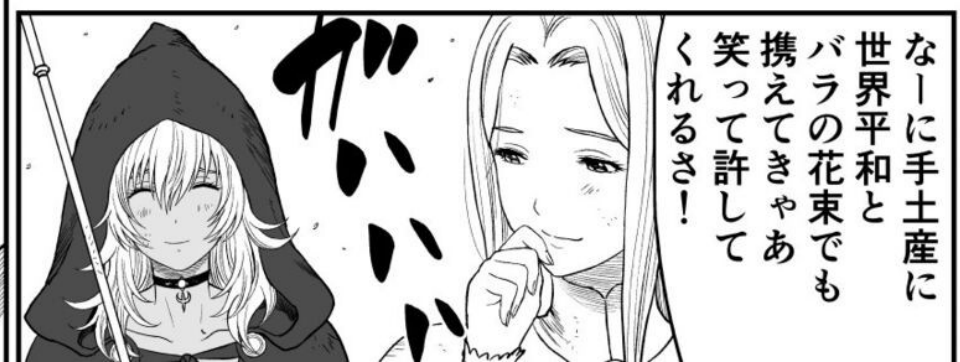
そう願って
いるよ



…ああ

随分…待たせて
しまったけど

…うん



なーに手土産に
世界平和と
バラの花束でも
携えてきやあ
笑って許して
くれるさ!



私はクロエ

よろしくね
「元・勇者」の
ジャックさん！

……！



……

どっこいしょっ



……ねえ
ホントー
なの？

ホントーにオジサンが
二十年前に魔王から
世界を救ったあの
「勇者ジャック」なの？



あーあと
ちよいワル
みたいなの？
感じのとかもー

あーでも
でも……

いやなんかさ
聞いてたのと
随分イメージが
違っててさー
そりゃまあ二十年も
経ってるから
いい年の中年には
なってると思ってたけど

もっとこう渋くてイイ感じの
オジサマみたいなのを
想像してたんだよねー



よく喋る娘だな……

苦手な
タイプだ……

フ……

あーお話し中に
悪いんだが……
人違いだよ
お嬢さん





…ふーん
人違い、ねえ…

名前は
ともかく
名字まで…?

へー
そんなこと
あるかなあ



えっ?!

だから人違いさ
同姓同名のね

ほらジャック
なんて名前
特に珍しくも
ないだろう?



……



んー!
ビミョーに
引っかかるけど
まいっかー

じゃねー
バイ
バイ



うん

そっか
そう
だよねー!
オジサンって
私のイメージ
してたのと
違いすぎるもん!

おでこはアレだし
おなかもアレだし
さー!

おまけに
お酒臭いしー

……納得して
くれたかい?

アレっ
て…



…やれやれ

嵐のような
娘だったな

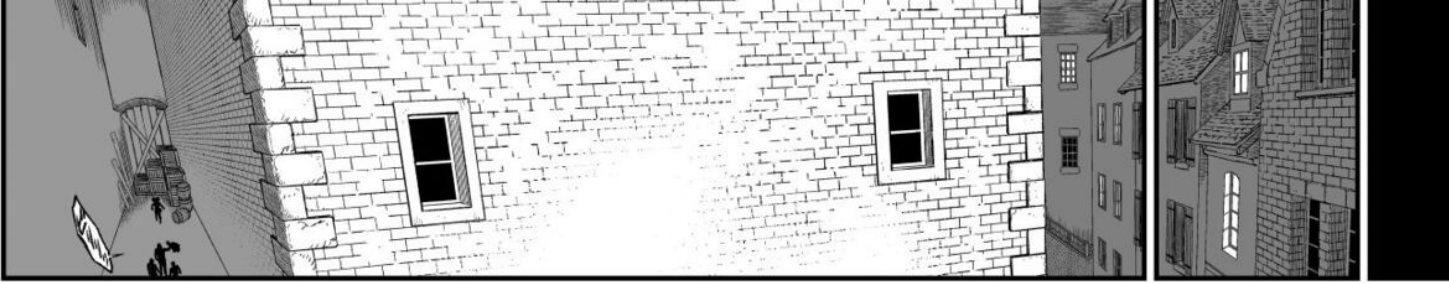


……



ぐへへ…

一気に酔いが
醒めて…



チョー
ウツザ…!!

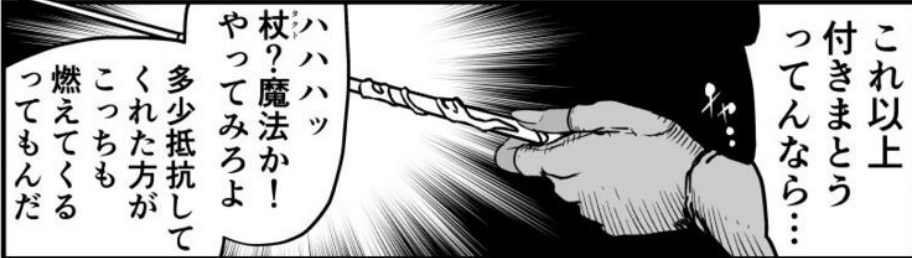
やだって
言ってるでしょ
……!!



いい加減に
しなさいよ
アンタ達…!!

ぐへへ…
残念残念

そっちは
行き止まり
だぜえ…



これ以上
付きまとう
ってんなら…

ハハハッ
杖?魔法か!
やってみろよ
多少抵抗して
くれた方が
こっちも
燃えてくる
ってもんだ



つれねえなあ
俺達と飲むって
約束してたろオ
ねーちゃん?

そんな約束
してないっ



お望み通り燃やして
やるわよっ!

ルブルームツ!!



こらこら...

ヤバい
かも...っ!!



きゃああああっ



バカがっ魔法使いの
戦闘ってのは
前衛があつてこそ
成り立つスタイルっ!

おまけにこんな
近距離複数人
相手じゃあ...



詠唱が
間に合わ...っ



どう
足掻いたって
オメーに
勝ち目は
無いって
ことさあ!!

そこらへんに
しときなよ



っ!?

誰だっ!!

…「飲んだくれ
ジャツク」……!?



飲みの
お誘いにしても
ちよいと強引
過ぎるでしょ



オジ…
サン…?

何だテメエコラア
つけてやがった
のかあ!



いやいや帰り道に
たまたま悲鳴が
聞こえたから様子を
見に来ただけさ

酔いの勢いで
カッコつけてんなら
ケガだけじゃ済まねえぞ
オッサン!



消えろ!
今すぐによオ!!

できれば
そうしたいん
だけどねえ…



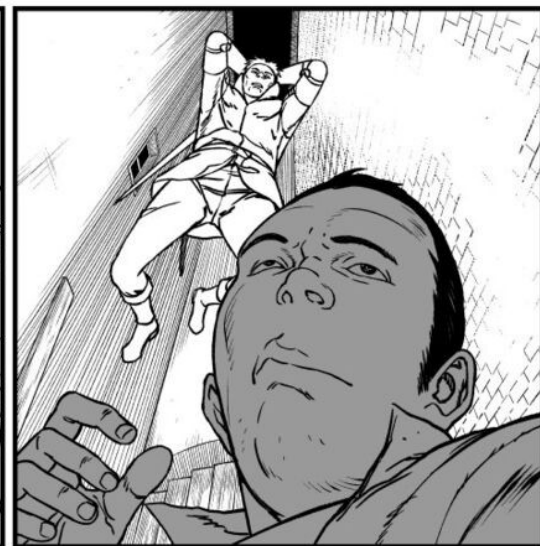
バカがつ!



は…



やれやれ





…悪いがお前さん
程度の能力じゃあ

俺の防御魔法は
破れはせんよ



…ウソッ！

やっぱこの
オジサンが…

ホンモノの
……!?



…お前さん達
剣士ギルドの
メンツだろ

…たたく今は
こんな質が
落ちているのか？



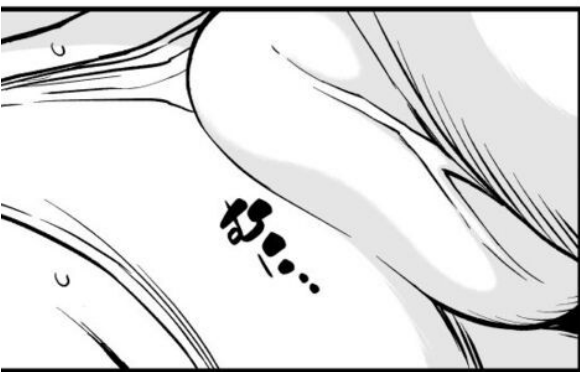
ちよつと！
ちよつと！
待て——い！！



ふー…キミ
大丈夫かい？

あつ
う…うん
ありがと…

それじゃ…





ねーねー

何で魔王倒した後に行方不明になったの？

何で？
何でいなくなっただの？

いいでしょー
教えてよ
ねーったらー

ねー

ねー



んーまーねー

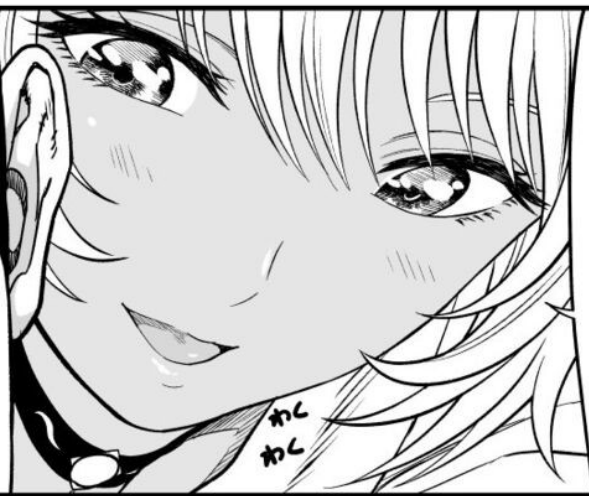
で？

…しまった



そんなに気になるかい？

はー…
さつきから 二十年前の話で
ずっとひっきり おそらくキミもまだ
なしに… 生まれていないだろうに
よく知ってるねえ



それでそれで？



なーに
よくある話さ…



はあ…分かった
コーサンだ
別に面白くも
ないよ？

え？

出て行った？

私達は何度も止めたんだよ ジャック君…

どこの馬の骨とも知れない 行商の男なんぞに うつつを抜かし おって…!!

ジャック君のことは どうするんだと 聞いたたら…

娘は…

その…

「もう待つの は 疲れた」…と

そう…
ですか…

…世界救って 彼女失って…

それで 魔物ばかり狩って 他に取柄が無かった 無知なそのボウヤが 手っ取り早く 現実逃避するのに 身近にあった代物が

気が付いたら この有様ってわけさ

お酒だったって わけだ

それで毎日 浴びるように 飲んでって…





ダメオトナ!

ハハハこりや
手厳しいねえ

さあ今度は
キミの番だ

なぜ俺を探してた
目的は何だい?



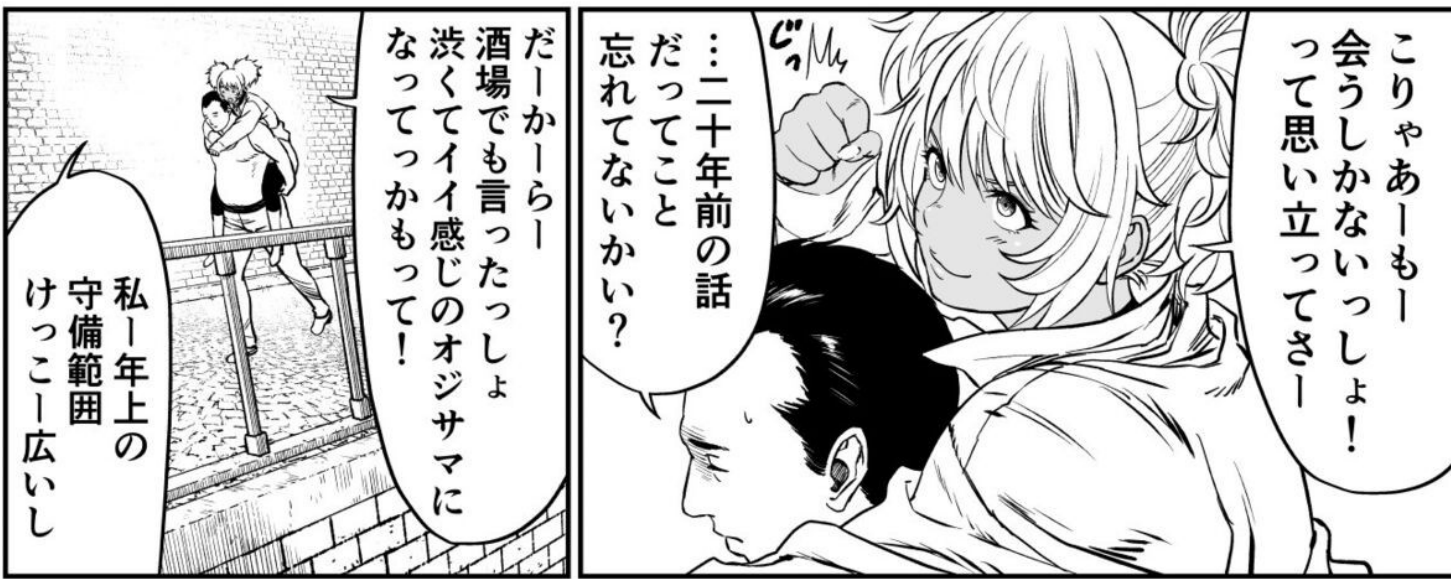
私ってさ
男運つてのが
全っ然無いん
だよー
寄ってくる男
寄ってくる男
しょーもないの
ばーっか

確かに

でさなんかもー
めっちゃウンツザリ
してた時にさ
ふと思いだした
んだよ

小さい頃によく
聞かされてた
オジサンもとい
勇者様の武勇伝の話

どんだけ強くて
どんだけ優しく
おまけにカオも
イケてて



こりゃあーもー
会うしかないっしょ!
って思い立ってさー

二十年前の話
だっってこと
忘れてないかい?

だーかーらー
酒場でも言ったっしょ
渋くてイイ感じのオジサマに
なっってっかもって!

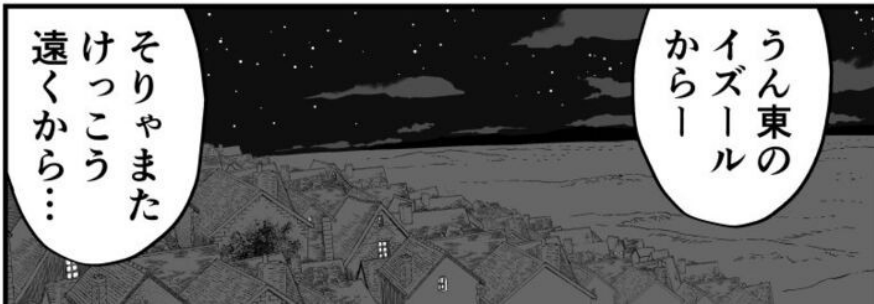
私一年上の
守備範囲
けっこー広いし



そいつは
ご期待に添え
なくて

しかしよく
俺を見つけれ
たね

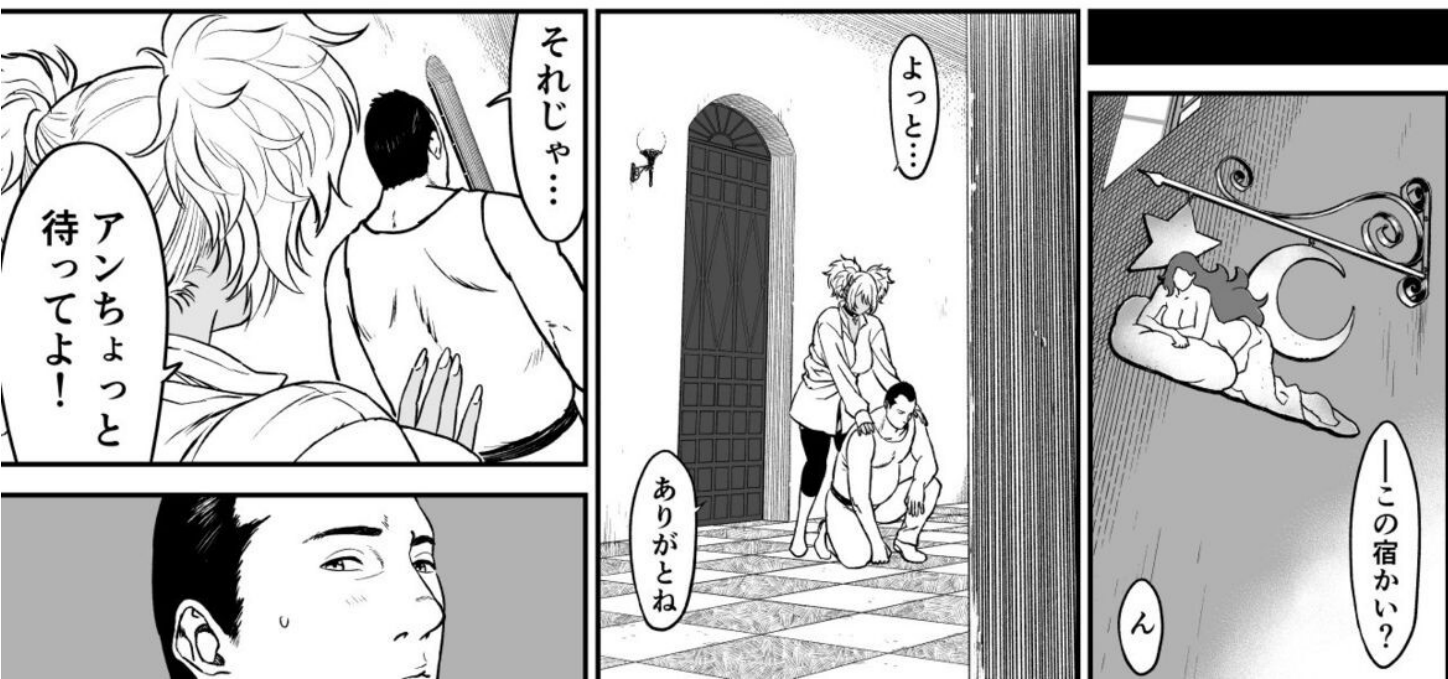
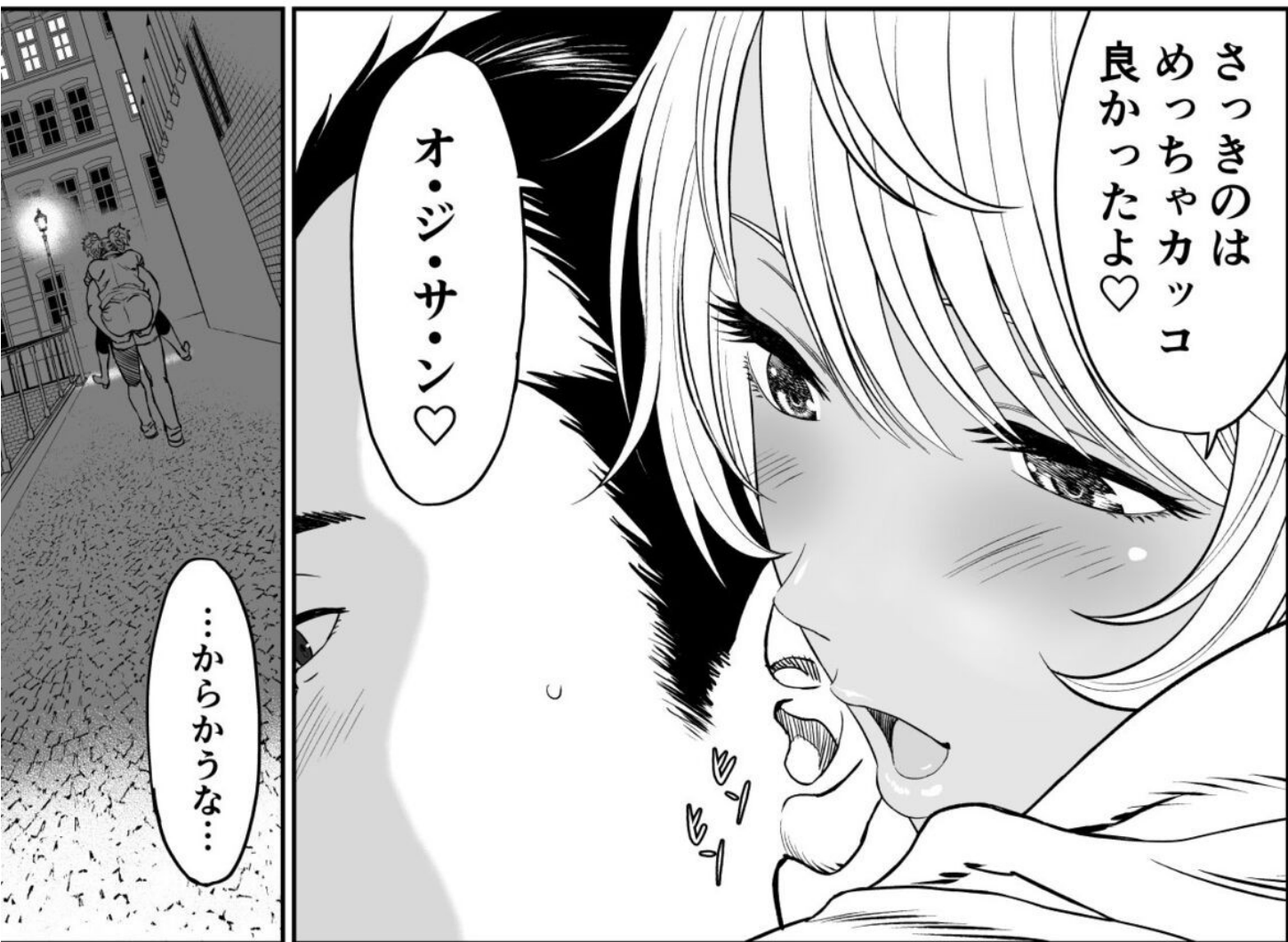
君はこの
町の住人じゃ



ホーント
にイー

うん東の
イズール
からー

そりゃまた
けっこー
遠くから







…オジサン
めっちゃドキドキ
してんね…



おおい…

す
ワッワッ
ワッ

ん…ホント
お酒臭い…



私もね
してるんだよ…

分かる…？



ほら…

どきどき

うあつ



まほら
とりあえず
座ろ

オジサンも
疲れてる
でしょ



あつ！



あ…う…

む…胸で
よく…



…こりや
やられたな

まんま
と…



アリガトーもオーうん
治っちゃったかなあ♡



えっ?!

そういえば
キミ
足は…!?

大丈夫なの
かい…?

あー…



じゅっ…

…



…あれ…?

この娘…



どこかで
……?

い…いや
そんなことより
近…い…あ

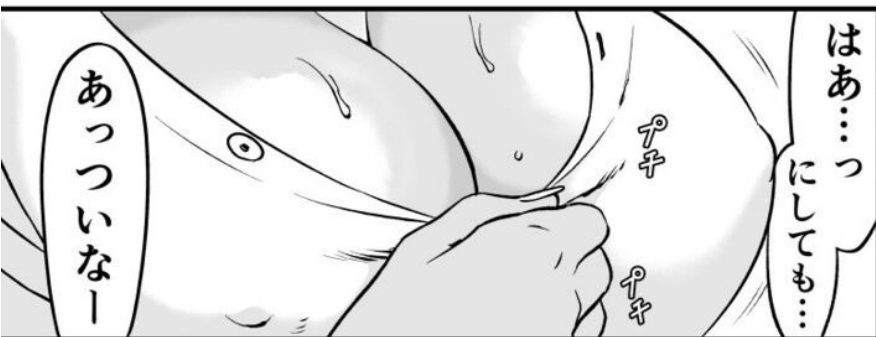


ふー…

つかれちったー

ギシッ

ドゥドゥドゥドゥ





あつ...

ああ...っ



す...すまない

そっそのっ

俺は...っ

えっ...



カワ...

初めて...?



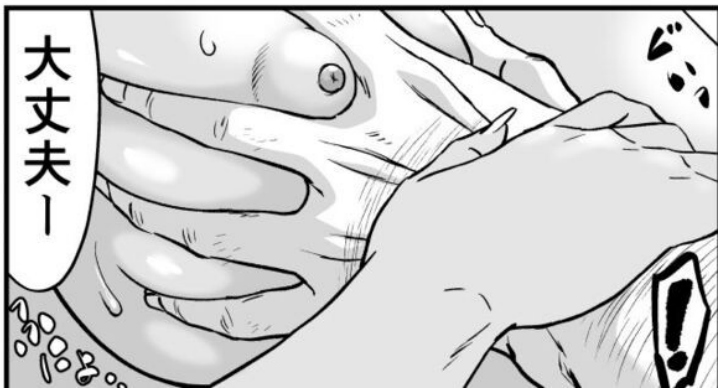
!!

わわわ...

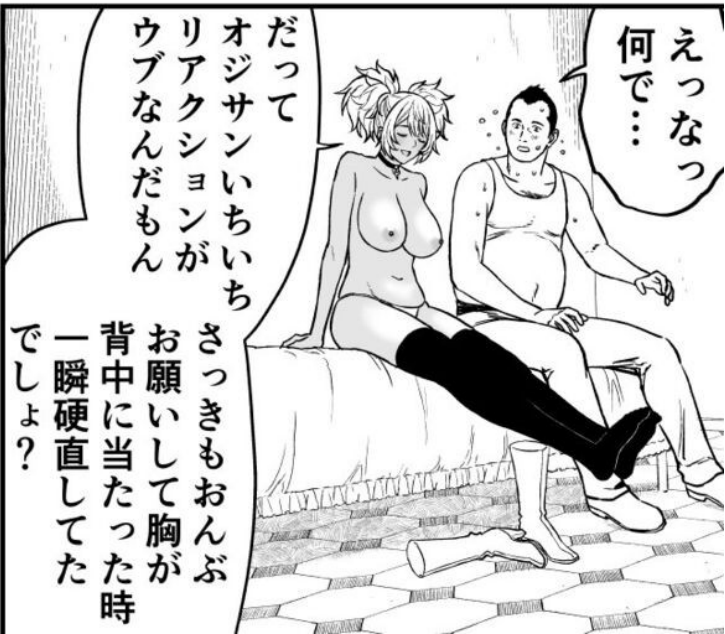


う...

意外と
鋭いな
この娘...



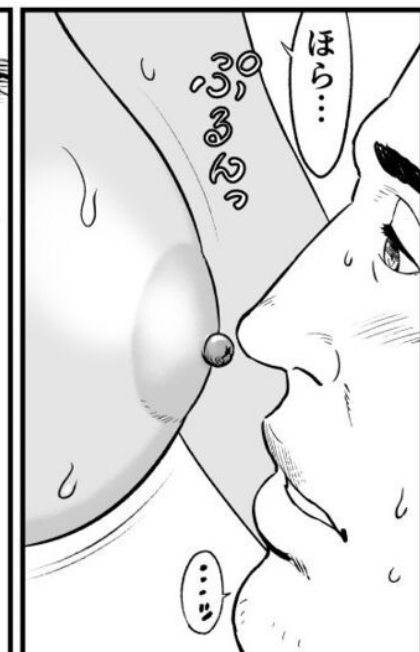
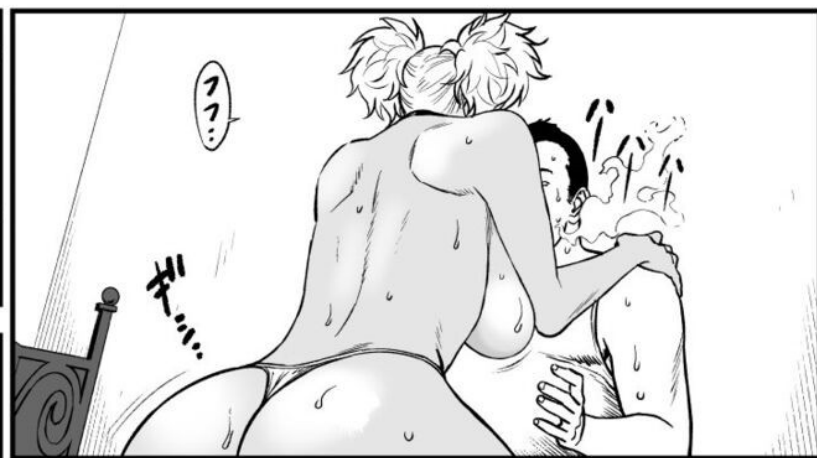
大丈夫ー

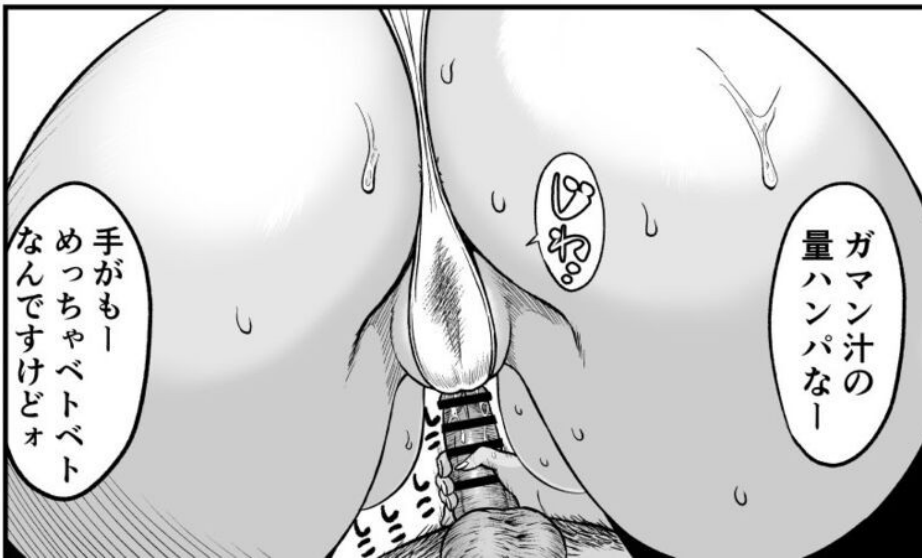
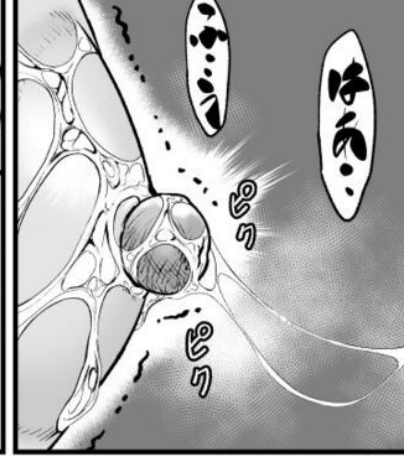


えっなっ
何で...

だって
オジサンいちいち
リアクションが
ウブなんだもん

さっきもおんぶ
お願いして胸が
背中当たった時
一瞬硬直してた
でしょ?







それはもう
二十年前の話…

でーは

「勇者」サマの
チンチン…ッ

舐めちゃお

はあ

ぬる

うわっ

うわっ

うわっ

ぐわっ



ダメだよ
溜めっぱなし
はー

めっちゃ
ハンノー
イーねー

やりがい
感じるー

ほむ

ほむ



一発抜いと
こー？

ぐわっ
ぐわっ

セーシ
イッパイ溜まってる
っしょ

タマタマも
パンパンー

ハッ

ぐわっ



出そー？
いーよガマン
しなくてー

プーッ
ピュッ
しょー

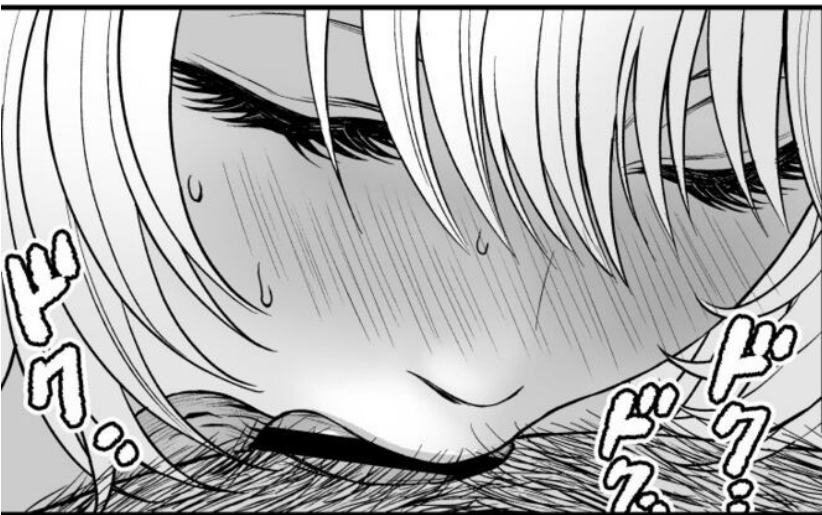
ピュッ
しょー

ホラいくよーっ

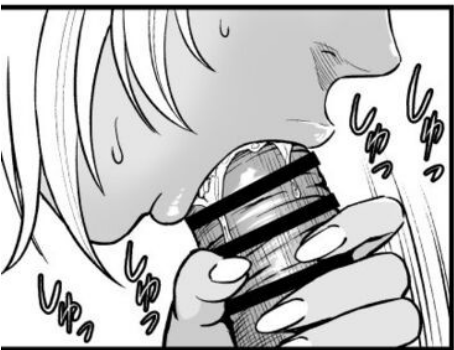
ほじ
ほじ

ダメだっ
ああっ

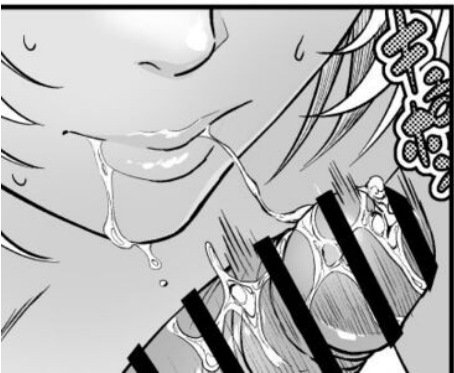
うっあっ
待ったっ
もういいっ
もう
いいよっ！
これ以上は
もうっ…！！



抗うヒマもなく
あつという間に…



情けない…だが
最高…だ…







んっふっもう
限界……っ

おぢさんも
まだまだ元気だね
……なら



……いいよね？

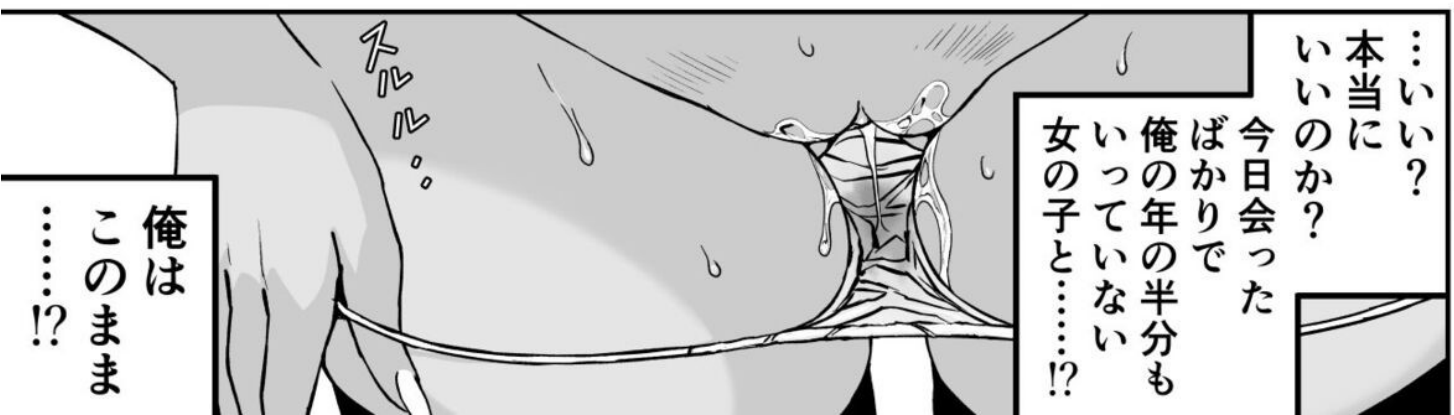
おぢさん……



はあ……ヤバ
私のココ……っ

……チンコっ

めっっちゃチンコ
欲しい……っ



……いい？
本当に
いいのか？

今日会った
ばかりで
俺の年の半分も
いってこない
女の子と……!!

俺は
このまま
……!!

くっ…これは…
あの時の…



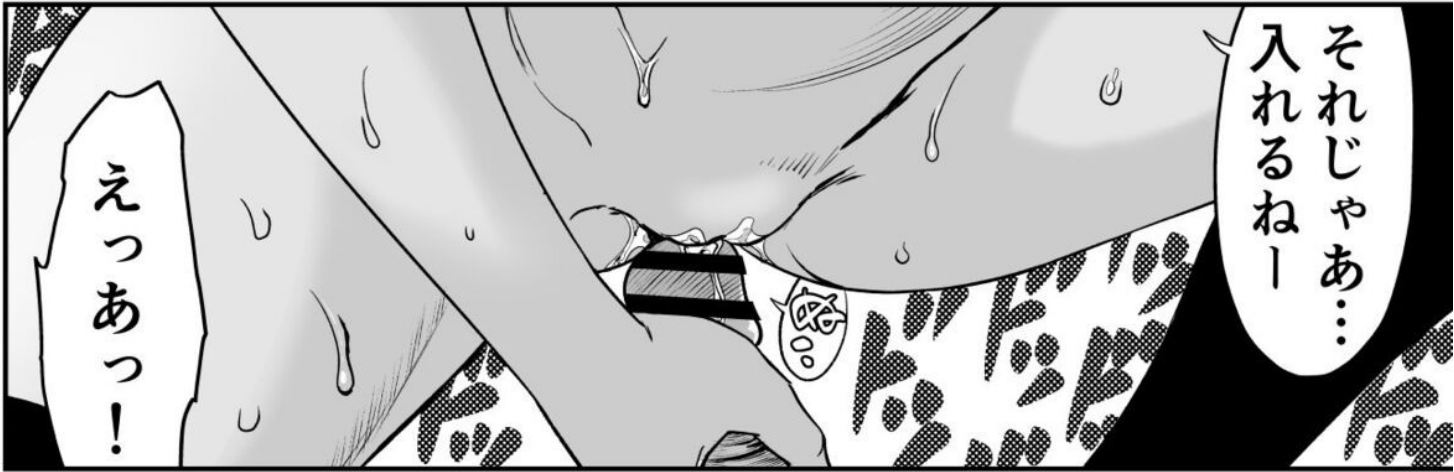
二十年前魔王との
決戦前夜の時より緊張
しているぞ俺は…!!

いいのか!?



俺は本当に
いいのか…!?

それじゃあ…
入れるね!



えっあつ!

わああつ



ん…あれ
チンコ…
入んない
…?



ウソ…なんか
ツルンって
弾かれる…!?



この…っ
なんで…



あつ!!
まさかっ

防御魔法っ!!

オジサン
チンコに防御魔法
張ったでしょ!!

何!? やっぱ
私とシたくない
ってわけ!?

ちょー心外
なんですけど!!

キィィィィ

あ...いや
その...

いっいや
違うんだ
聞いてくれ!

あの...何か
申し訳なくて...

オレみたいなの
オッサンが
キミみたいな若くて
可愛い女の子と...



その...しても
いいもの
なのかって...
そう思ったなら
無意識に...

はー?

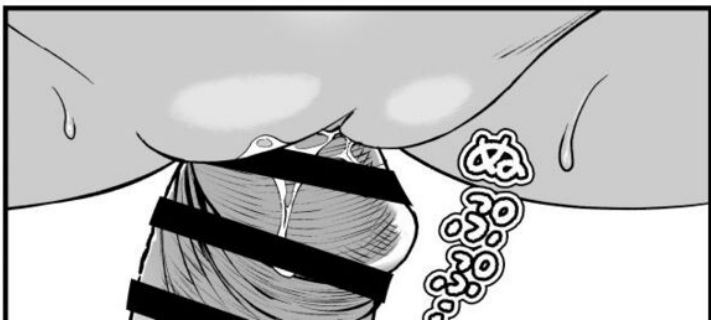
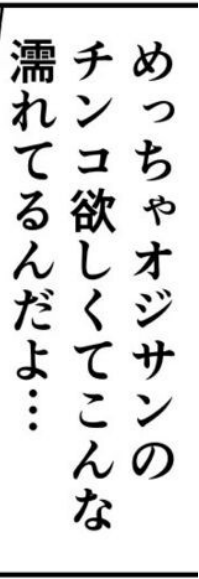
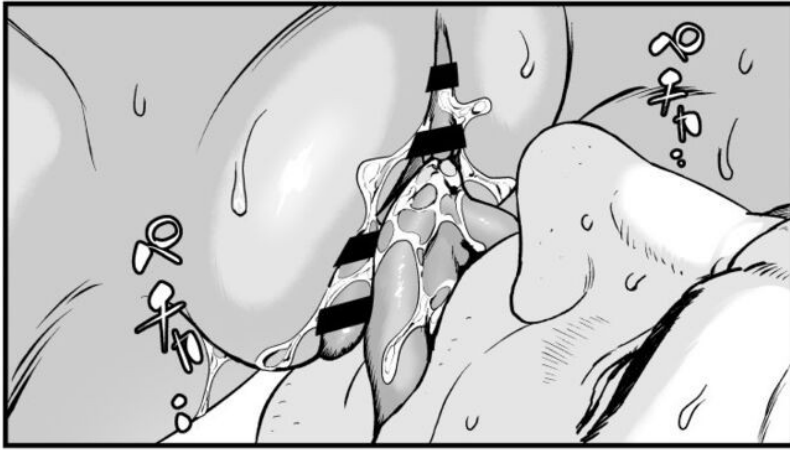
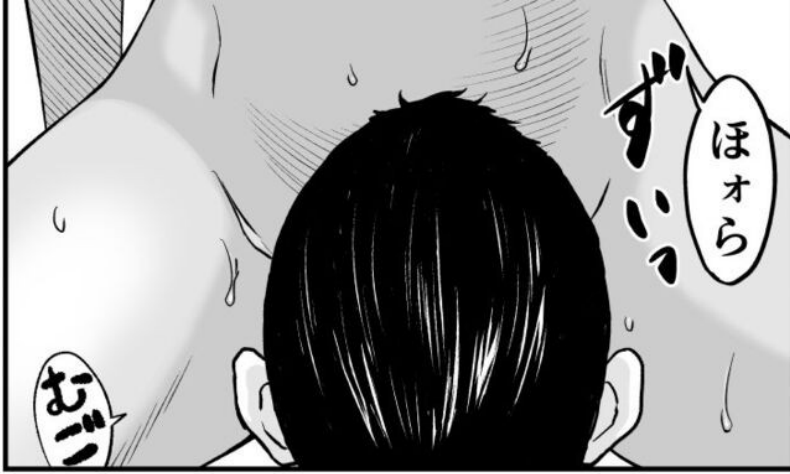
ここまできて
そんな考えに
なるフツ?

据え膳ならー
って言うでしょ!

...まあそんな
考えになるオジサンも
嫌いじゃないけどさー

ほら...
見てよ
オジサン









ヤバイ
ヤバイヤバイ
ナニコレナニコレ
ナニコレッ

コレめっちゃ
ヤバイよオ
オジサア
ンッ



…っいや…
この娘との
ソレは…っ！

魔王との死闘より
ずっと…手強い…!!

それに比べたら
こんな…っ



くっ…耐えろ…!!
そして今こそ思い出せっ

ちよっ
腰止まんないん
ですけどオ!

魔王討伐の旅での
数多の艱難辛苦を…っ!!



報
いるっ!!

このまま
やられっぱなしじゃ
立つ瀬がないなっ

：しかし…!
元勇者としてっ
いい年こいた
大人として



せめて一矢
くらいは…



オジ…サ…ン?

な…に?
今の…衝撃…



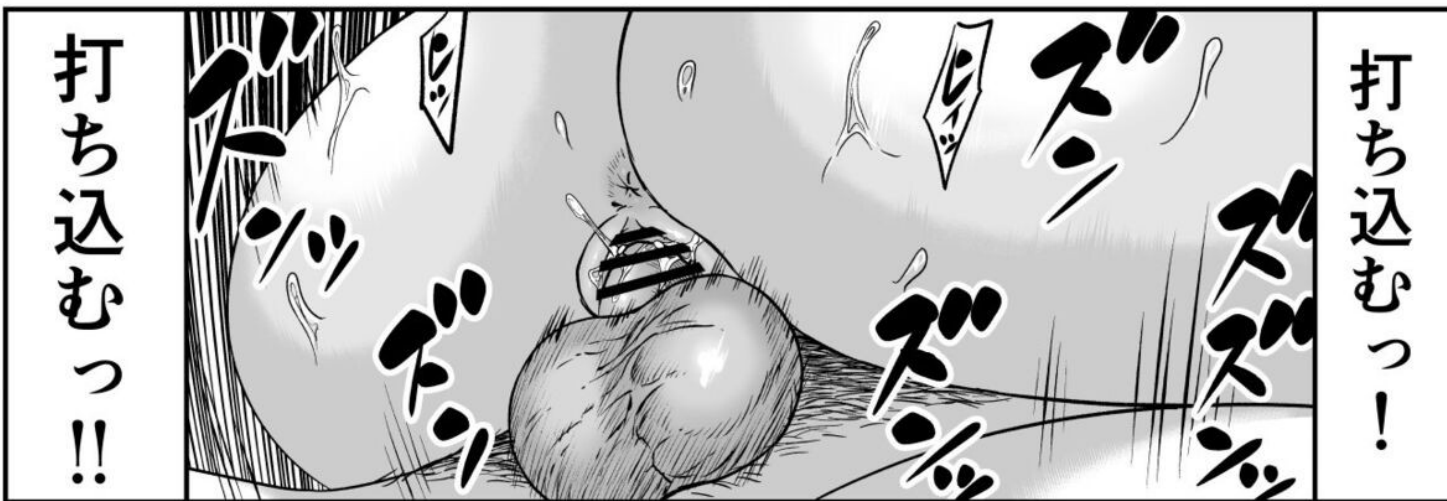
かつて魔王に
トドメをさした
あの渾身の一撃の
ように……!!

この娘の
一番奥に……
打ち込むっ!!



オジサンッ
ヤバッスゴッ

奥にズンズン
くるううっ



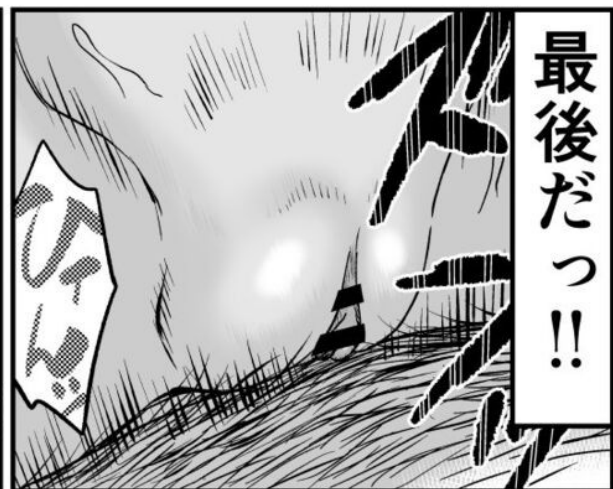
打ち込むっ!!

打ち込むっ!!



……っ
オジサンッ……

ナ……カに……出



最後だっ!!



こ……
腰が……

界……っ

……限



私……
もオダメ
……っ!!

……次の一撃が……っ

……くっううっ

びゅん

びゅん



は…
え…?

抜い…
ちや…

うあああ



し…
びび



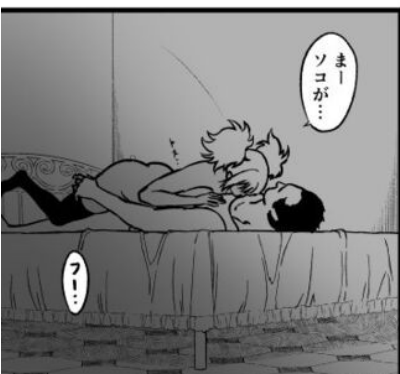
ふ…ヤベー
危なかった…

間一髪…

魔王に
負けるより
ヤバイ状況に
なるトコロ
だった…

いや顔に
おもいきし
ぶっかけられん
ですけど…

…ホント
オジサンて…



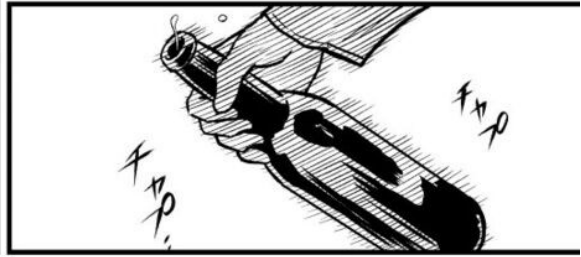
ま…
ソコが…

7!



…
っ

中でよかった
のに…



あいつらが：
いてくれたおかげ
だろうがよオ

……いやいやいや
そうじゃねえだろ
このバカタレがあア



マジで感謝しろよ
なあアアあー！

……へっ
お前らがそうやって
ヘラヘラして毎日
生きてられんのはあ
ぜーんぶこの勇者サマの
おかげなんだからなあー



絶対に……

な……



……ハハ
今の俺のこんな姿
見たらきつと
驚くだろーなあ

ぜってー
あの三人だけには
見せられないよなあ

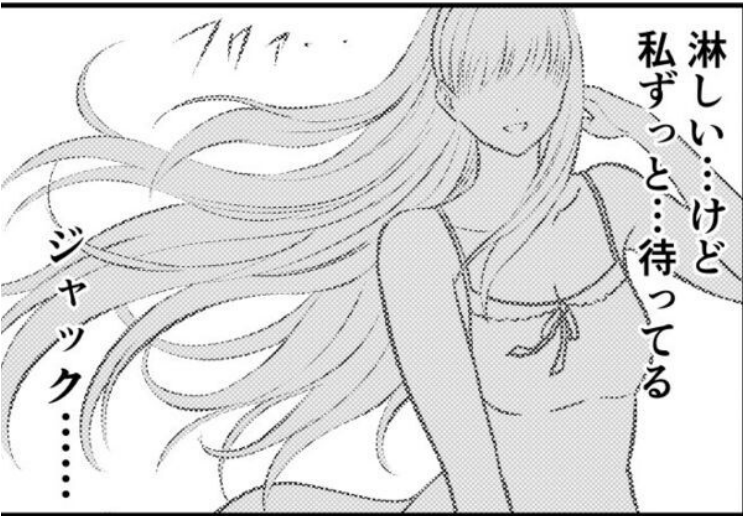


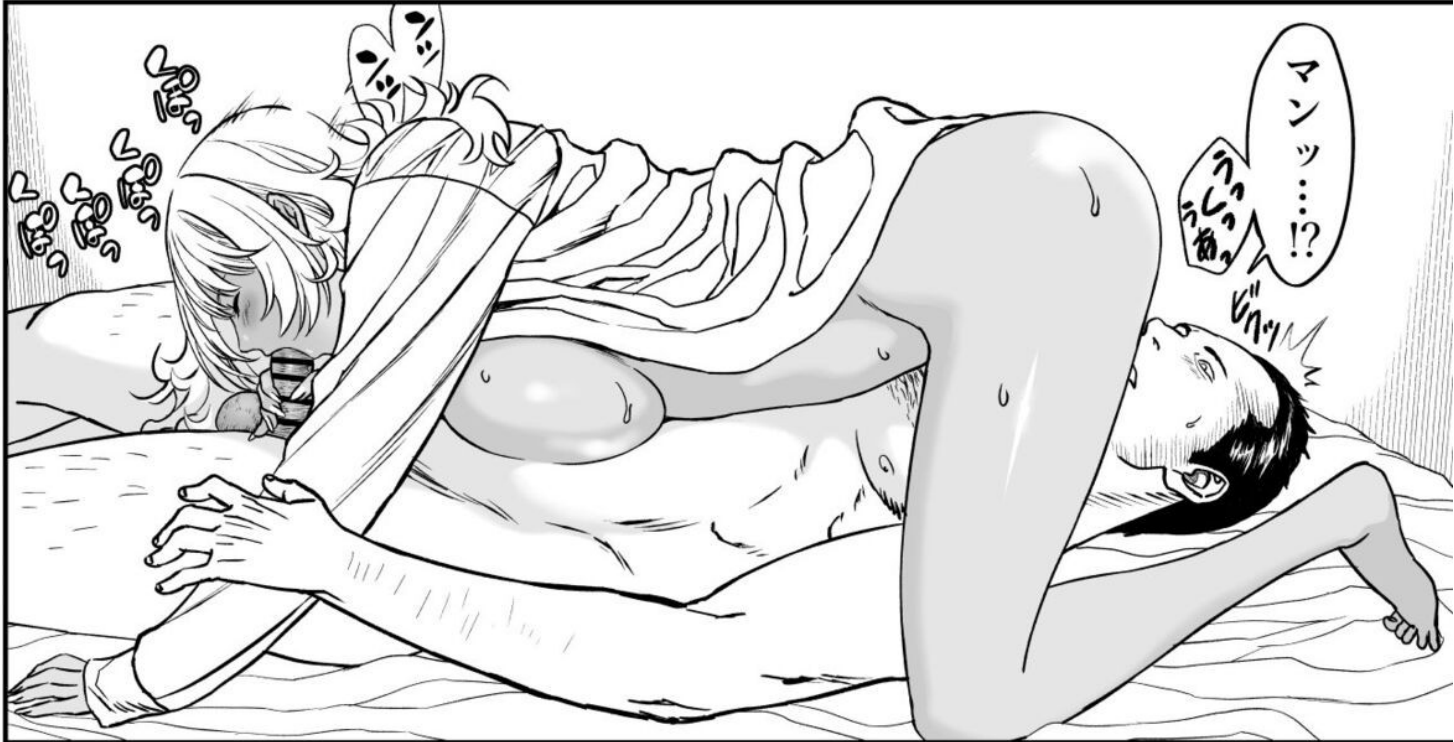
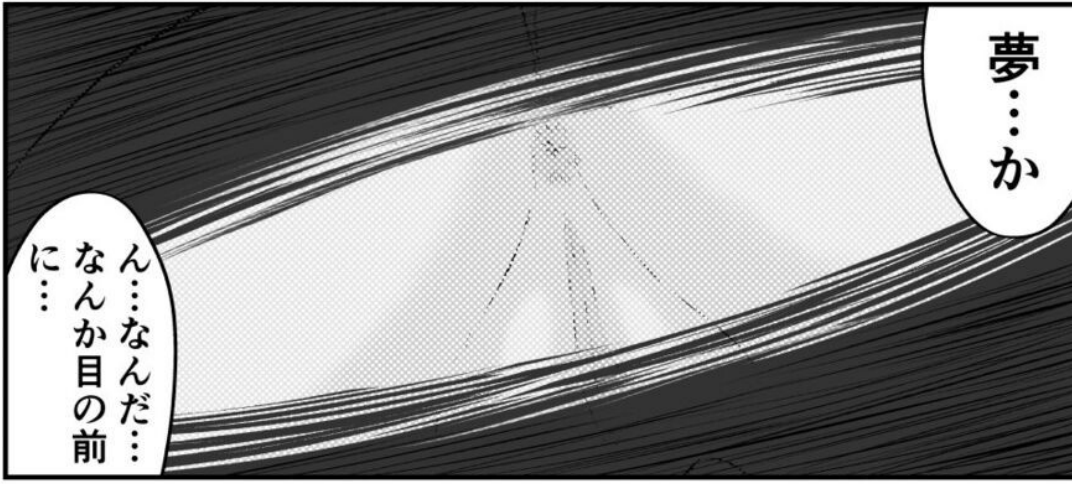
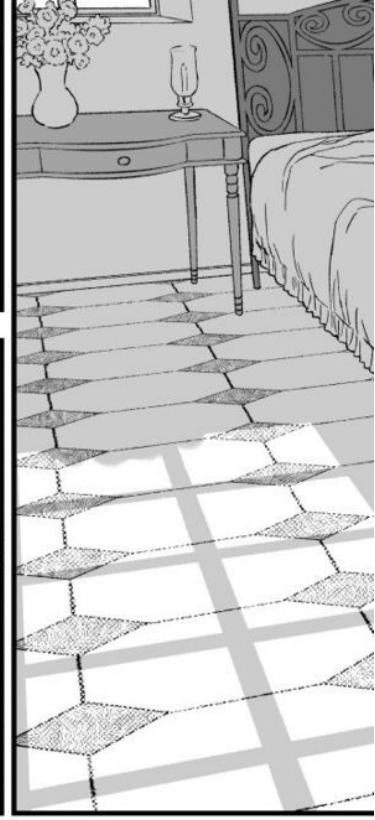
……ふはあつ 元気に
やっつつかなあ
みんな……

まだそんなに
経ってないはずなのに
もう随分と昔のことに
感じるなあ……



ちよいと
その
おにー
さん♪







それに
この服…

オジサンの
ニオイがして
なんか落ち着く…



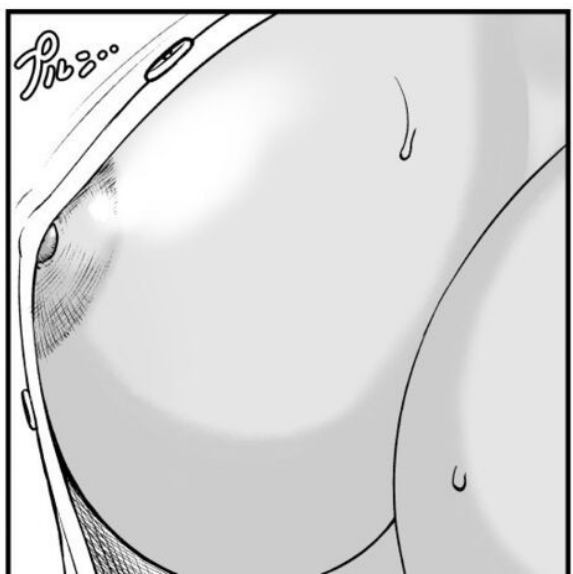
めっちゃ
気持ちいいお目覚め
できたっしょ？

ああ…ちよつと
驚いたけどね



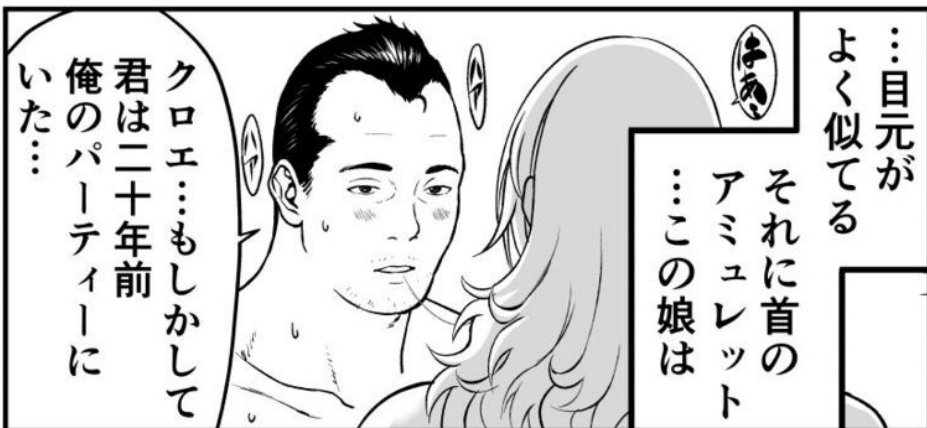
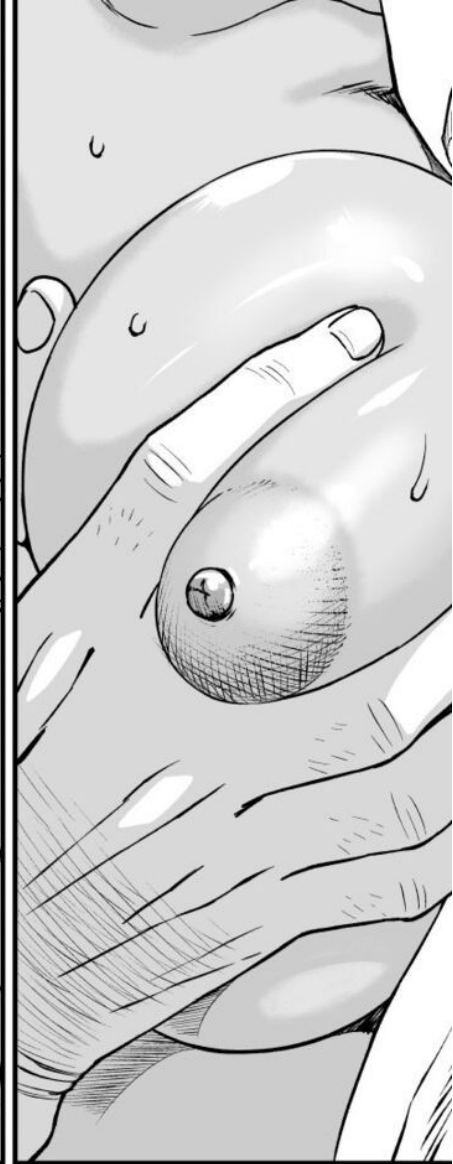
あ…服…

少しだけ
寒かった
から…



俺のニオイ
って…

別に
イイモンでも
ないだろう…



…ようやく
思い出した

…目元が
よく似てる

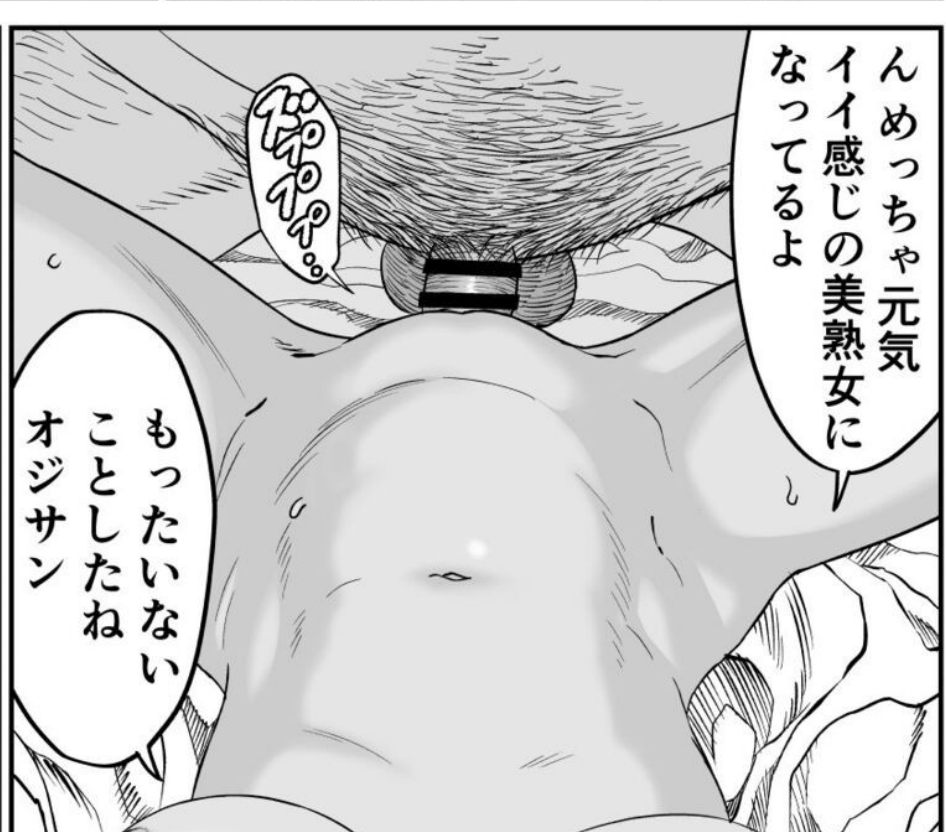
それに首の
アミュレット
…この娘は

クロエ…もしかして
君は二十年前
俺のパーティーに
いた…

…よーやく
気付いたあ？
おっそいよー

そ私は
オジサン…もとい
勇者パーティーの
メンバー…

もみもみ



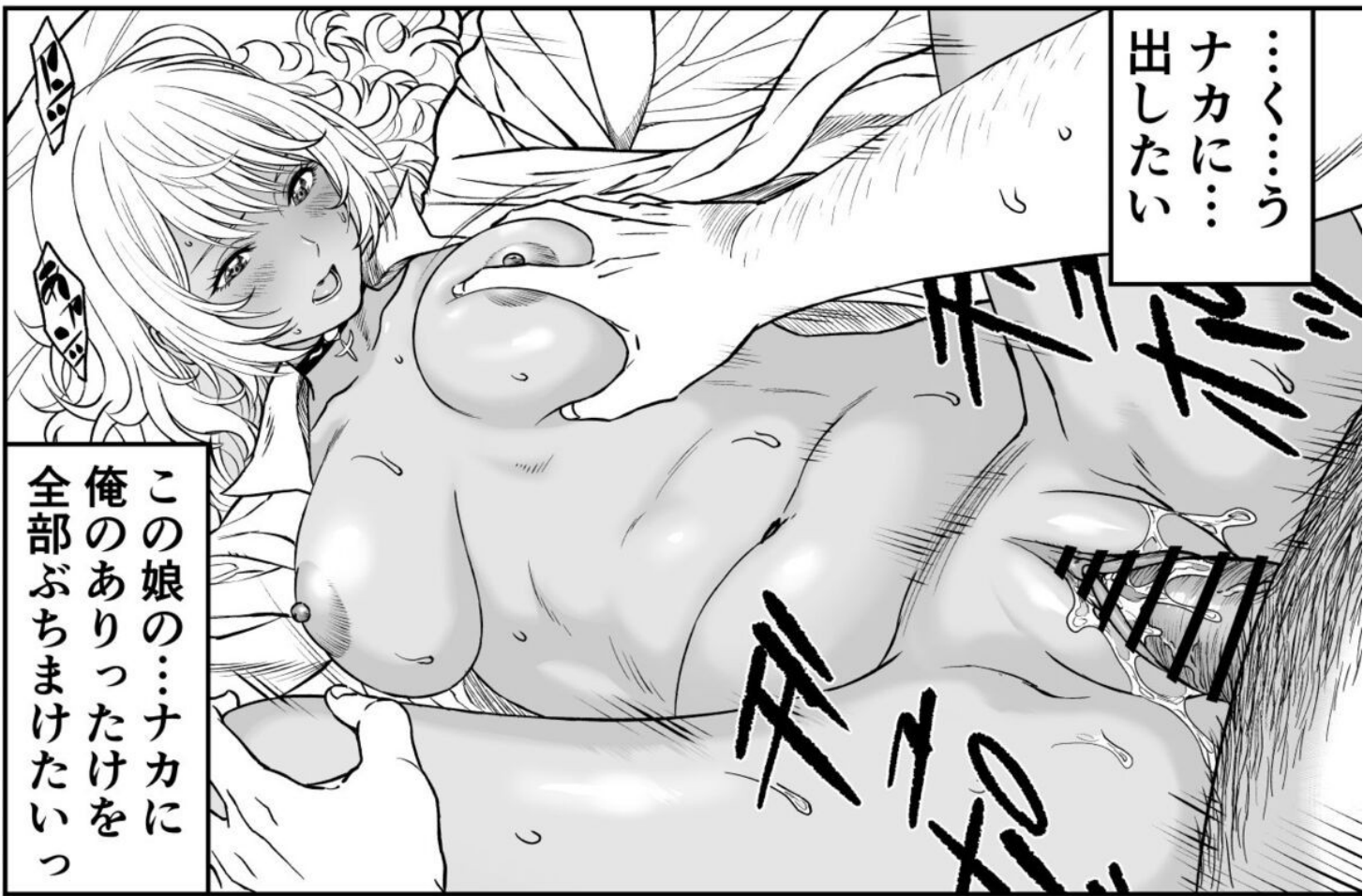


こんな
たまらない
ムスメの
肉^{カラダ}体を
思う存分
貪れる
なんてな…

しなさい
しなさい♡

ホントに今更
俺みたいなの
オヤジが…

…ああ
感謝して
るよ



…く…う
ナカに…
出したい

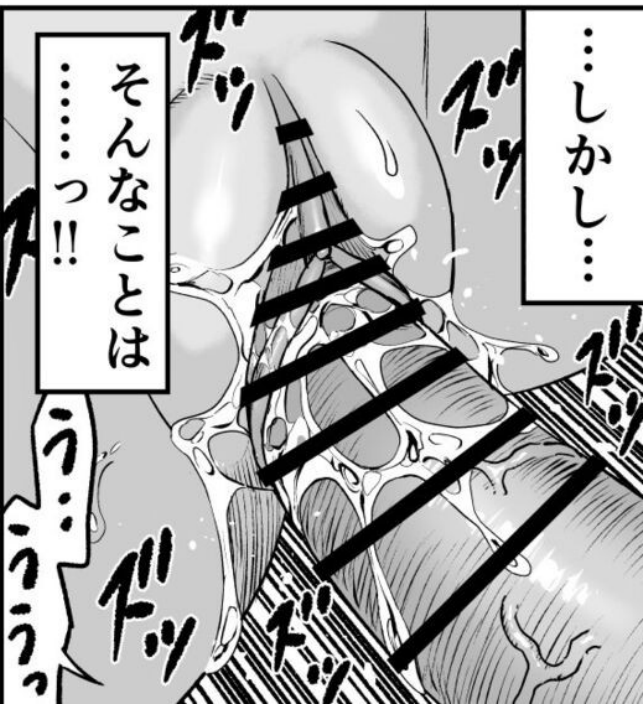
この娘の…ナカに
俺のありったけを
全部ぶちまけたいっ



あっ
ピストンッ

速くなって
きたっ

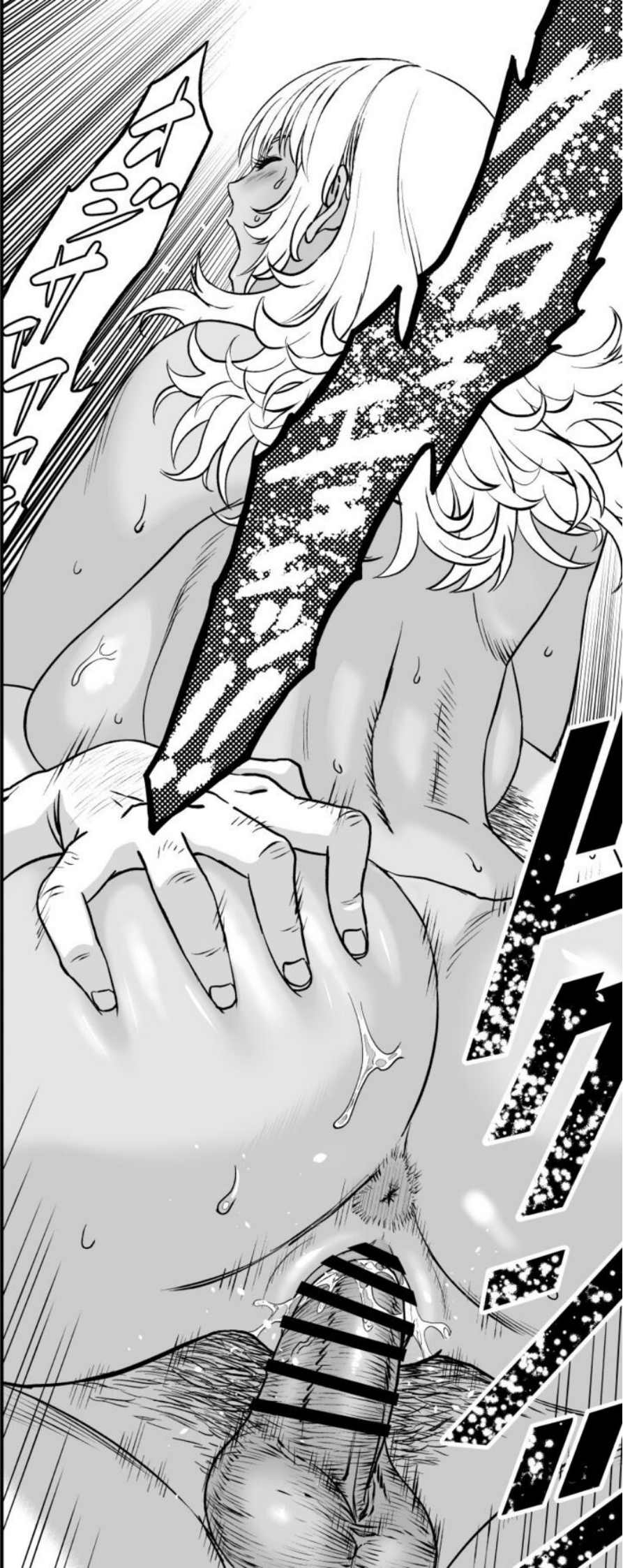
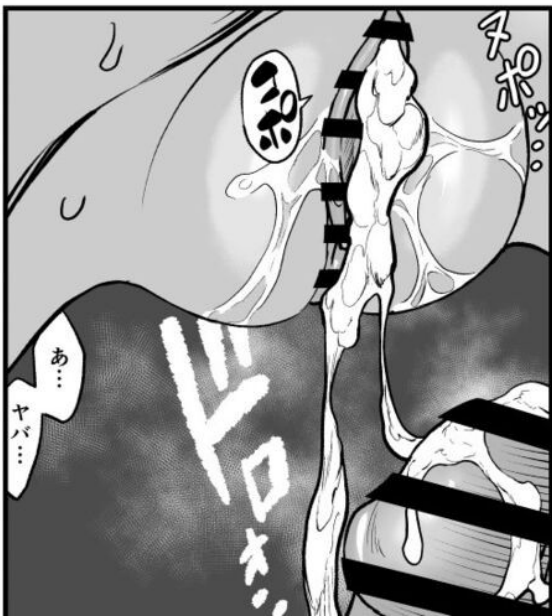
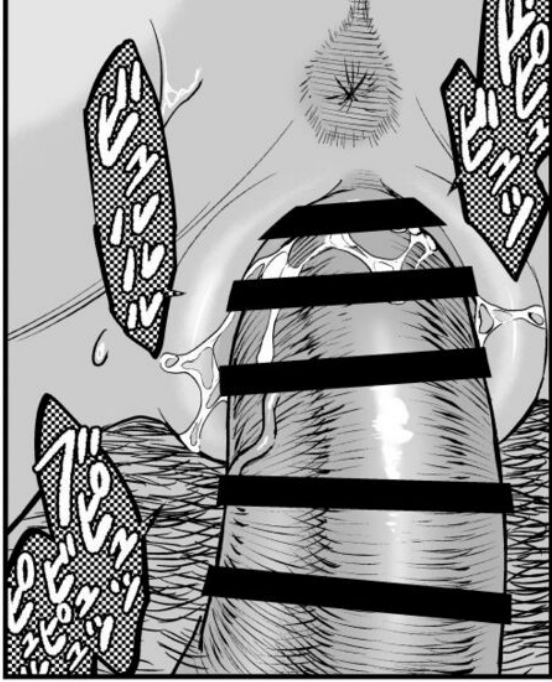
…いいよ
オジサン



…しかし…

そんなことは
…っ!!

う…う…





私の名前
大声で叫んで
イクなんてー

ちよつと恥ずいん
ですけどー？

ゴメンナサイ…

アハハ
ウソウソ！
めっちゃ
嬉しーって



ふー…
さ・て・と

休憩
おわりっ

それじゃあ
もう一戦
いこっかー

オジサン
ファイター

はむっ
くぼくぼ
くぼ…

えっ…？

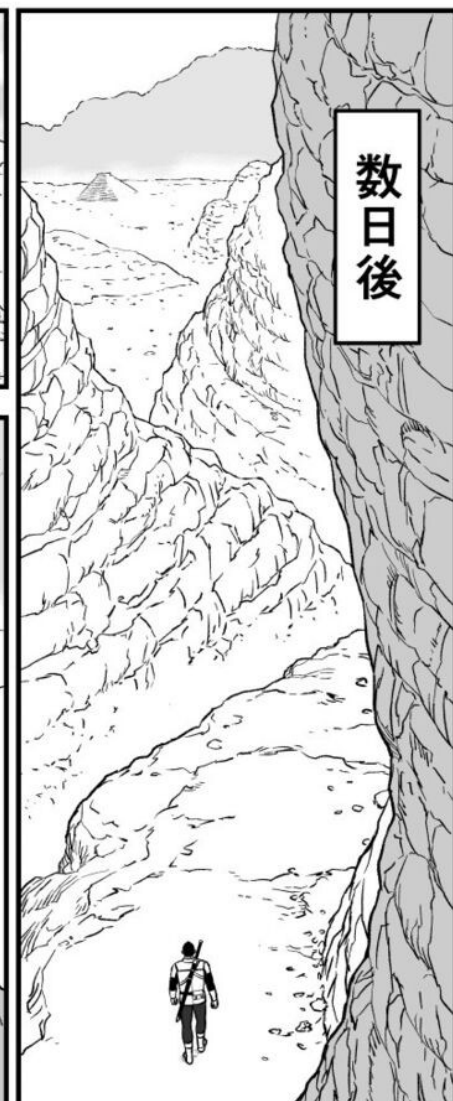
おっほお
オオツ

…この娘には
かないそうに
ないな…



…ふー

久々の仕事は
中々にこたえる
なあ



数日後



まだ結構
通いなあ…

あれからは
酒は嗜む程度に
心がけている

リハビリも
兼ねて仕事も
やり始めた

こりや相当
なまっているな

そりや
そうか



魔物はあの
遺跡か…

あの娘の
おかげ…
だな…

ねー



：クロエ
本当に家には戻らなくて
いいのかい？

えー？大丈夫って
言ったじゃん
ウチは放任主義だし



歩くの
速すぎー

もーちよい
ゆっくり行こーよ
オジサン



それに私
オジサンと一緒に
居たいしー



へへへっ…

うんうん

だよねー♡



オジサンだって
嬉しいっしょ？
私と一緒にできー

ああ…
まあね



こんなカオ
されたら
まあ…

もう一度位は
頑張るしか
ないよなあ…



ご購入ありがとうございます